

## 小立野地区土壌予備調査結果について

### 【調査目的】

土壌汚染対策法（平成 14 年 5 月 29 日法律第 53 号）により使用が廃止された有害物質使用特定施設にかかる事業場の敷地であった土地について、土地の所有者は当該土地の土壌の汚染の状況を調査しなければならないとされている。

このため、土壌汚染対策法に規定される全ての特定有害物質（表 1 参照）による土壌汚染の有無と汚染物質、汚染地点を把握することを目的として実施したものである。

### 【調査結果概要】

小立野地区（図 1 参照）敷地面積 83,900 m<sup>2</sup>において、第一種特定有害物質（揮発性有機化合物）については土壌ガス調査を 792 地点、第二種特定有害物質（重金属等）および第三種特定有害物質（農薬等）については表層土壌調査を 108 地点において実施した。（調査期間は平成 19 年 12 月 21 日から平成 20 年 5 月 30 日まで）

調査結果の概要は以下のとおりである。（表 2 参照）

#### （1）第一種特定有害物質（揮発性有機化合物）

土壌ガス調査において基準値を超過したのは 1 種類 3 地点であった（図 2 参照）

- ・ベンゼン 3 地点 最高 0.14ppm 基準値 0.01 ppm の 14 倍  
(定量下限値 0.05ppm)

#### （2）第二種特定有害物質（重金属等）

①表層土壌調査（溶出量）において基準値を超過したのは重金属等 3 種類 13 地点であった（図 3 参照）

- ・鉛 10 地点 最高 0.019 mg/ℓ 基準値 0.01 mg/ℓ の 1.9 倍
- ・ヒ素 2 地点 最高 0.028 mg/ℓ 基準値 0.01 mg/ℓ の 2.8 倍
- ・水銀 1 地点 最高 0.024 mg/ℓ 基準値 0.0005 mg/ℓ の 48 倍

②表層土壌調査（含有量）において基準値を超過したのは重金属等 2 種類 2 地点であった（図 3 参照）

- ・鉛 1 地点 最高 240 mg/kg 基準値 150 mg/kg の 1.6 倍
- ・水銀 1 地点 最高 29 mg/kg 基準値 15 mg/kg の 1.9 倍

#### （3）第三種特定有害物質（農薬等）

- ・全 108 地点において全 5 項目は検出されなかった。

### 【応急対策】

表層土壌調査（含有量）において基準値を超過した 2 地点については、念のため 5 月 14 日にシートで覆った。なお、当該地は平成 19 年 12 月末から敷地全体で立入禁止措置を講じている。

### 【今後の措置】

予備調査の結果を受けて、金沢市環境指導課の指導のもとに詳細調査を実施する。

表1 特定有害物質

第一種特定有害物質 (揮発性有機化合物)	トリクロロエチレン
	テトラクロロエチレン
	ジクロロメタン
	四塩化炭素
	1,2-ジクロロエタン
	1,1-ジクロロエチレン
	シス-1,2-ジクロロエチレン
	1,1,1-トリクロロエタン
	1,1,2-トリクロロエタン
	1,3-ジクロロプロペン
	ベンゼン
第二種特定有害物質 (重金属等)	水銀及びその化合物
	カドミウム及びその化合物
	鉛及びその化合物
	六価クロム化合物
	砒素及びその化合物
	シアン化合物
	セレン及びその化合物
	フッ素及びその化合物
	ホウ素及びその化合物
第三種特定有害物質 (農薬等)	ポリ塩化ビフェニル
	有機リン化合物
	チウラム
	シマジン
	チオベンカルブ

土壤汚染対策法施行令(平成14年11月13日政令第336号)第1条

表2 調査結果概要

項目					指定基準超過地点・測定濃度				
					最高濃度 地点	地点	測定濃度	指定基準	比較
第一種特定 有害物質	ベンゼン	土壌ガス		(ppm)		B5-7	0.07	0.01	7倍
						G8-1	0.05	(定量下 限值0.05)	5倍
					○	K3-2	0.14		14倍
第二種特定 有害物質	鉛及び その化合物	土壌	溶出量	(mg/l)		A1	0.011	0.01	1.1倍
						B1	0.013		1.3倍
						C4	0.012		1.2倍
						D4	0.014		1.4倍
					○	I9	0.019		1.9倍
						J9	0.016		1.6倍
						M3	0.012		1.2倍
						M6	0.011		1.1倍
						M7	0.016		1.6倍
						N4	0.011		1.1倍
		含有量	(mg/kg)	○	H2	240	150	1.6倍	
	砒素及び その化合物	土壌	溶出量	(mg/l)		M7	0.013	0.01	1.3倍
					○	N3	0.028		2.8倍
水銀及び その化合物	土壌	溶出量	(mg/l)	○	I4	0.024	0.0005	48倍	
		含有量	(mg/kg)	○	I4	29	15	1.9倍	

(注) 第三種特定有害物質 (農薬等) は検出されなかった。

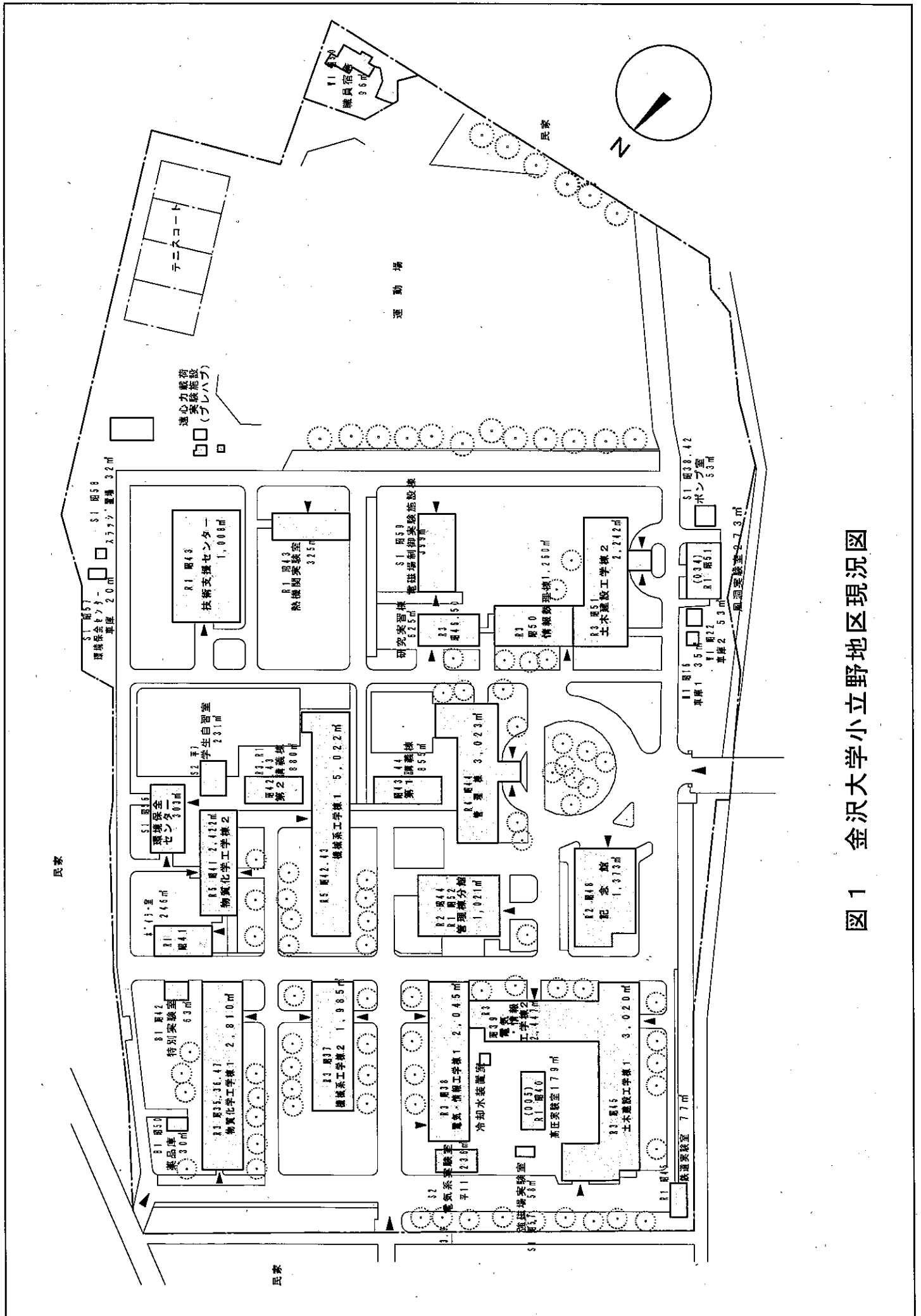


図1 金沢大学小立野地区現況図



A B C D E F G H I J K L M N

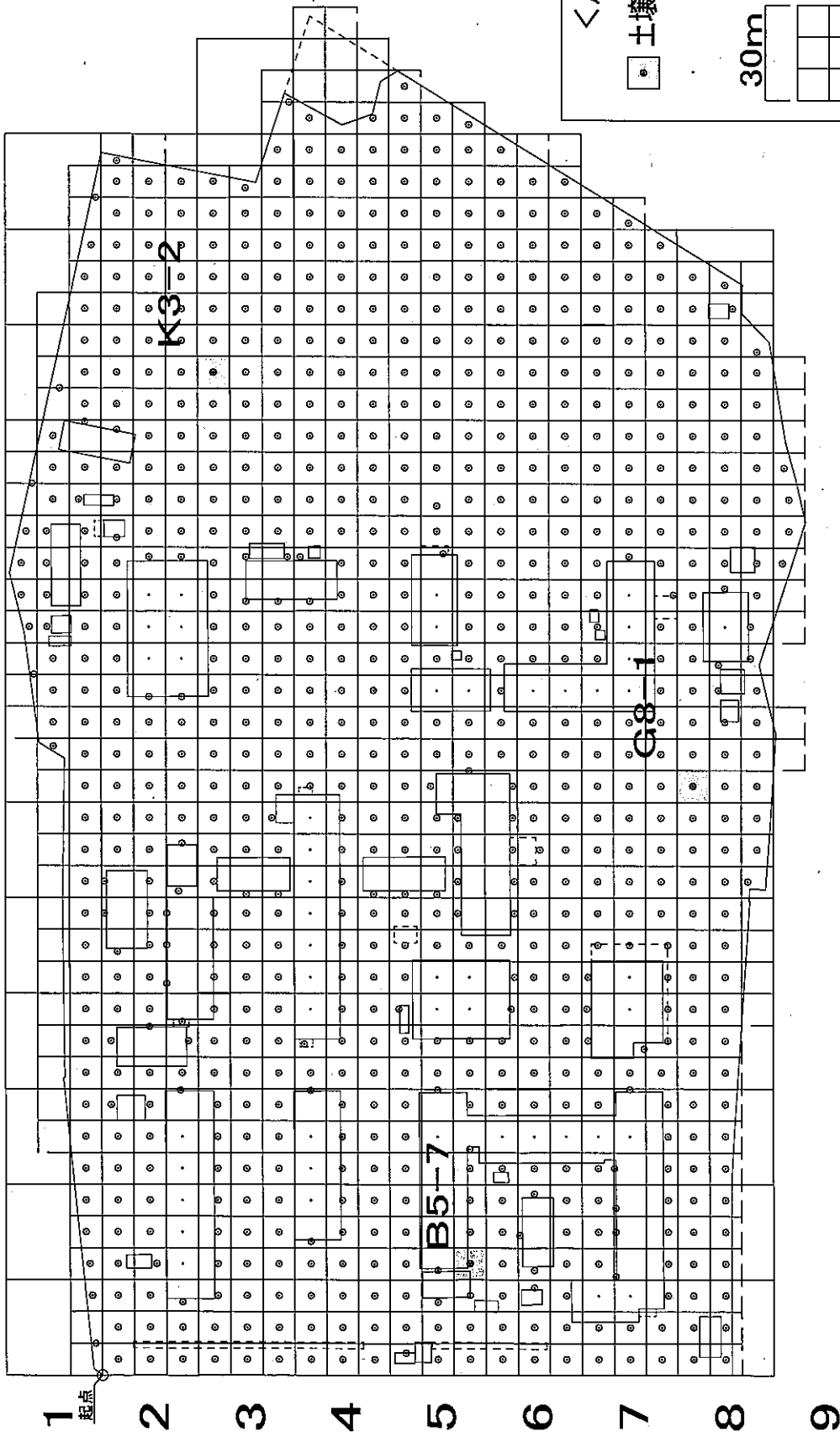


図2 土壤ガス調査状況図



A B C D E F G H I J K L M N

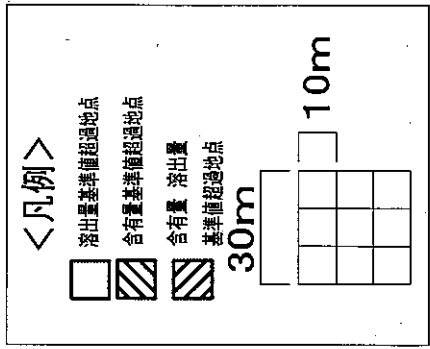
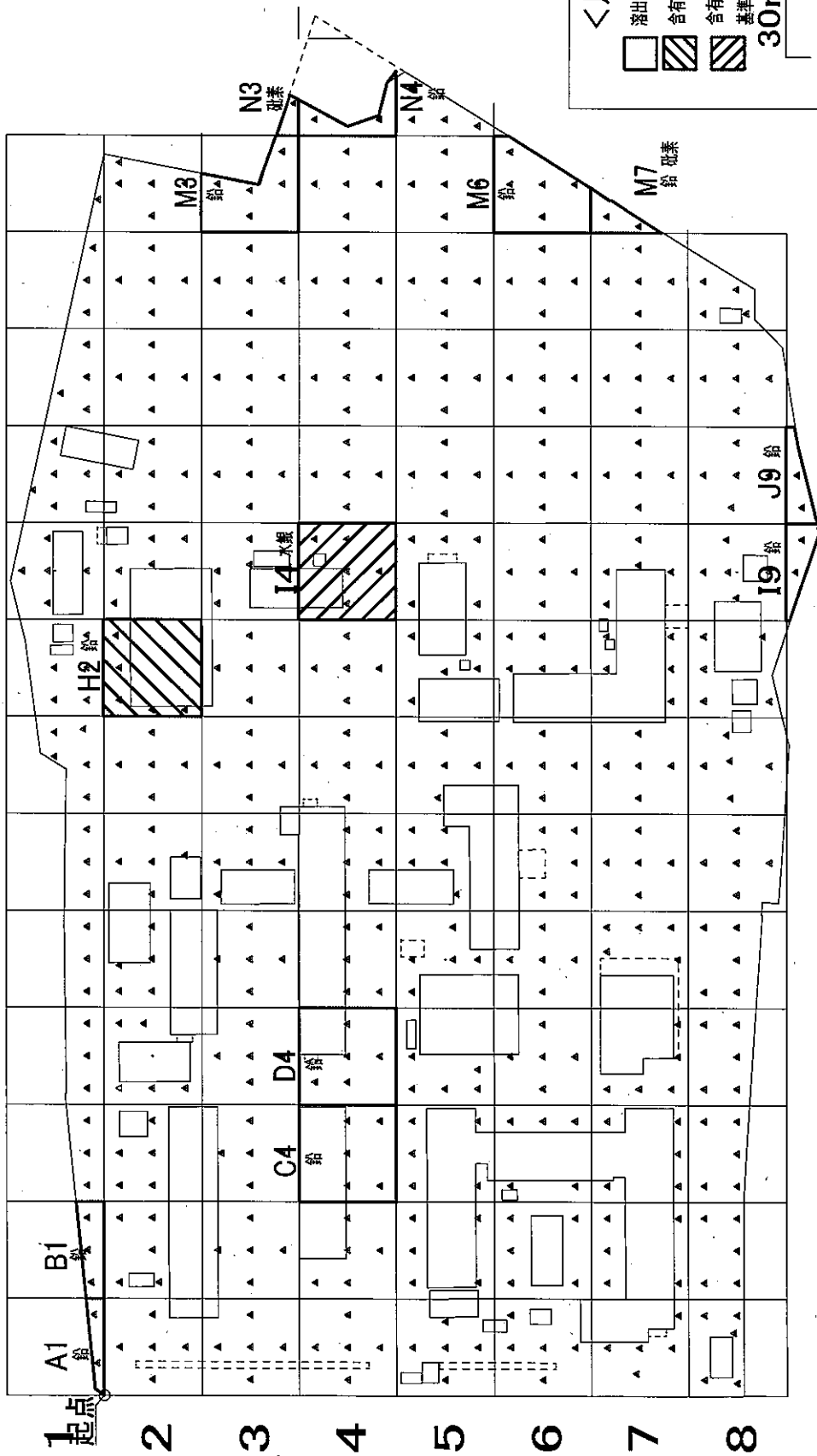


図3 表層土壌調査状況図